

○専門科目

科 目 名	医療分子薬学特論 I				
担 当 教 員 名	教 授 河村 好章 教 授 中島 健一 講 師 富田 純子	単位数	2 (90 分授業 15 回)	配当学期	春学期
講 義 の 概 要	本講義のねらいは、微生物や植物など、地球上に存在する多種多様な生物およびその代謝産物が生体に及ぼす影響を理解することにある。多くの感染症を引き起こす微生物の分類同定方法から病原微生物の取扱いの実際、さらに現在世界的に問題となっている薬剤耐性問題、新興・再興感染症問題について理解し考察する。また、植物など生物資源由来の生理活性物質の医薬品等への応用や生理活性発現の分子機構について、実際の研究例を交えて理解する。				
準 備 学 習 (予習・復習など)	受講前にシラバスに記載されている授業内容に関連する項目について調査し、内容について予習すること。講義内容、配付プリントをまとめ、復習すること。各回の講義前に、およそ 120 分を目安として予習・復習をすること。				
講 義 の 内 容 ・ スケジュール	1. 微生物分類学と細菌同定 2. 病原体取扱いの指針および実際 3. 薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン (1) 4. 薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン (2) 5. 新興感染症・再興感染症の実際 (1) 6. 新興感染症・再興感染症の実際 (2) 7. 細菌叢と疾患 (1) 8. 細菌叢と疾患 (2) 9. 天然資源を利用した医薬品開発の過去と現在 10. 様々な薬用植物と薬物治療への応用 11. 生物間相互作用と薬学への応用 12. 天然物研究の基礎 13. 天然物研究の応用 14. 天然物を用いたケミカルバイオロジー研究 (1) 15. 天然物を用いたケミカルバイオロジー研究 (2)				
評 価 方 法 (基 準 等)	レポート (50%)、口頭試問 (50%)				
教 材	配布資料				